

のしろ市議会だより

わたし まち

2016年(平成28年)1月25日 第39号



◆特集対談◆

白神森林組合

～地域林業の現状～

特集	2P
12月定例会の概要・審議結果一覧	3P～4P
一般質問・議長の主な動き ほか	5P～8P
委員会の行政視察報告	9P
各委員会での主な審議結果	10P～11P
議会の主な動き ほか	12P

◆特集対談◆白神森林組合 ～地域林業の現状～



ガウルスロボ

Q 外国産材の輸入比率が高まり、地場産材の値段が上がらない状況では、地域林業の状況は非常に厳しいと思いますが現状は。

木材価格が低迷し、昭和55年をピークにして価格が約9分の1となっております。伐採しても山の所有者に利益の還元ができない。そのため林業に対する意欲が落ち、山に行かなくなって荒れてきている状況にあります。

Q 間伐、皆伐で出た木材は主にどのような方面で利用されているのでしょうか。

一般材は木材市場、合板材は秋田市の合板工場、チップ材は地元へ供給しています。率としては一般材50%、合板材25%、チップは25%程度。全体の取り扱い量は、前年度実績で約3万立方メートルであります。

Q バイオマス発電や火力混焼のチップ等の材料が続かないという話を聞いたことがあります、どのような状況でしょうか。

足りないというよりも価格との問題があります。組合では現在は地元へ100%出荷していますが、ほかのところでもバイオマス発電が計画されている状態ですので今後、不足も予想されると思います。

Q 実際の現場で働く労働力は足りていますか。また年齢の分布はどのようになっていますか。

労働力は不足している状況で、年齢においては当組合の若い人で40代、平均年齢は54歳となっております。65歳を定年としています。若者の就業を期待し、林業大学校も開校しましたが、PRが不足していたのか、まだ認知度が低く、能代山本ではことは入学者がおりませんでした。今後は入学対象の学生へPRをしながら、卒業生を各部署で採用をしていきたいとは考えています。

Q 労働力不足、またコストの面からも当然、機械化に移行していかざるを得ないと思いますがどのようにお考えでしょうか。

去年、能代市からも林業機械導入に支援をいただき導入した機械は、作業道を開設していくときに木の伐採・土の掘削・整地を一台でこなす、すぐれもの「ザウルスロボ」と、伐採した材木の積み込み運搬を一台でこなす「フォワード」という機械であり、効率よく作業を進めています。大変有意義に使っております。



フォワード

Q この先、さらに機械を導入する予定などはありますか。

大型機械に大きいエンジンがつき、枝落としをしながら設定した寸法に玉切りするハーベスタという機械があります。これが揃ってさらに一連の作業が円滑に効率よく進むので、さらに機械を導入する計画を進めているところです。

Q 集材や運搬のコストを下げるためには林道や林業専用道路などの路網整備が大事であると思いますがいかがでしょうか。

路網密度が上がっていくことは望ましいと思いますが、今まで林道と農道を一体に整備することがなかったため、林道が整備されても手前の農道が狭くて結局、敷き鉄板等で搬出しなければならぬ場所が多くある状態。コストを下げるには木を出せる場所に大型トラックが入れることが条件。現状では木材の単価が上がることは期待できませんが、現状の単価でも機械化等でコストダウンした分の利益を少しでも、山主に還元できればと思います。

貴重なお話をどうもありがとうございました。

(取材：落合範良 落合康友)



白神森林組合の畠山さんと佐藤さん

12月定例会の概要

一般会計補正予算は賛成多数で可決

12月定例会は、12月8日から24日まで17日間の会期で行われました。

提出された議案は、一般会計補正予算など全22件と議員発議の意見書3件のほか、継続審査となっていた平成26年度一般会計決算及び特別会計決算認定1件で、審議の結果、全ての議案を可決、承認、認定、同意しました。
また、陳情は3件を一部採択、1件を不採択としました。

主な単行議案

◆能代市債権の管理に関する条例を制定します。
市の債権の管理の適正化を図るため、放棄に関する規定等を定めます。

◆能代市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正します。
地方税法施行規則等の一部改正に伴い、法人番号の定義規定の追加等を行います。

◆地域自治区の設置に関する条例の一部を改正します。
地域自治区の設置期間を延長します。

◆能代市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例を制定します。

◆定住自立圏の形成に関する協定を締結します。

藤里町、三種町、八峰町と定住自立圏の形成に関する協定を締結します。

◆指定管理者を指定します
【指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日】

◆在宅障害者支援施設「らいあんぐる」
【社会福祉法人能代ふくし会
【能代市農林漁家婦人活動促進施設】
仁駒部落区長

◆能代市文化会館条例の一部を改正します
能代市文化会館の使用料及び利用料金について、減免に関する規定を追加します。

◆能代市下水道条例の一部を改正します
能代市公共下水道の使用料を改定します。

専決処分の承認

◆平成27年度能代市一般会計補正予算(第4号)

一般会計補正予算

補正予算(第5号) 7340万円、(第6号) 14万円の追加となり、予算総額は3001億4599万6千円となります。

補正予算の主な内容・事業

◆ふるさと祭り東京2016

二天宮の不夜城」出演補助金

960万円

組立解体費、お隣子披露の経費を追加します。

◆林業機械導入支援事業費

204万5000円

白神森林組合が導入する高性能林業機械に対して補助します。

◆大館能代空港利用促進事業費

272万7000円

申請件数の増加による大館能代空港利用促進助成金を追加します。

◆耐震補強事業費

小学校 4291万4000円

中学校 4362万5000円

湊城西小学校、湊城南小学校、能代第二中学校、能代南中学校の耐震改修工事等を行います。

◆二ツ井町土地改良区総代補欠選挙費

14万円

二ツ井町土地改良区において総代の補欠選挙を行います。

特別会計補正予算

・簡易水道事業特別会計補正予算
・浄化槽整備事業特別会計補正予算
・介護保険特別会計補正予算

企業会計補正予算

・水道事業会計補正予算
・下水道事業会計補正予算

人事案件

○常盤財産区管理委員 山崎 光男

※敬称は省略させていただきます。

26年度一般会計と特別会計の決算を認定

11月5日に決算特別委員会を開催し、一般会計と10の特別会計の決算を審査しました。一般会計の決算額は、歳入総額272億4495万2045円、歳出総額264億2751万9041円で、差し引き形

式収支は8億1743万3004円。特別会計全体の収入済額は158億1592万3555円、支出済額は153億444万8604円で、各特別会計とも黒字決算でした。審査の結果、多数を持って認定すべきものと決定しました。
一般会計の主な質疑に対する答弁概要は次のとおりです。

歳入

【今後の財政見通し】

能代火力発電所3号機などにより一時的に市税がふえることがあっても、減少傾向と考える。地方交付税も人口減の影響等により減額が予想される。財政調整基金の活用等により当面は問題ないが、将来的には厳しい財政状況になると考える。

歳出

【産業振興と雇用】
事業者等が収益を上げ、それを従業員に還元できるような施策を考えたい。農業振興も同じであり、市の農業の特色を生かした産業振興により、農家所得の向上に結びつけるような施策を積極的に実施したい。

職員

【職員の時間外手当】
職員数の減少に伴い時間外手当の支給者数は減っているものの時間外勤務の時間数が増えている。

【公共施設の管理】
公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいる。今年度は固定資産台帳の整備を行い、更新や統廃合、維持補修等の基本的な方針は来年度にまとめた。

がん検診

前年度と比較すると受診率は減少しているが、子宮がん、乳がん検診は県平均を大きく上回っている。市ではがん対策推進強化事業を進めており、受診者の負担軽減対策として無料クーポン券事業を行っている。今後も受診しやすい環境づくり等に努める。

落合 範良 (平政・公明党)

平成28年度予算編成

問 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に向け、施策に積極的に取り組んでいく必要がある。こうした状況の中、編成される平成28年度予算について、どのように臨むのか。

答 人口の減少等により市税や地方交付税の減少が見込まれることから、事業の効果の検証、緊急度などによる優先順位づけを徹底し、真に必要な事業の推進と財政の健全性を両立させ、将来世代に過度な負担を先送りしない持続可能な財政運営に努めながら、総合戦略の基本目標の実現に向けた事業に取り組んでいきたい。

当市の奨学金

問 市奨学金に関しても、ふるさと人材育成定住促進奨学金と同様、返還金の2分の1助成を行った場合、ふるさとに定住する若者がある程度ふえると思うが、助成する考えは。

答 若い世代のUターンや新規転入を促進することを目的に、能代市版総合戦略の中で奨学金返還金助成事業を検討している。

その他の質問事項

- 団体の運営等に対し、市が交付している補助金
- 見通しの悪い交差点の改善

落合 康友 (改革のしろ)

小規模校の存続と統廃合

問 小規模学校ならではの特色づくりのため余裕教室を有効活用することで地域と子供を元気にする可能性はあるが、学校を目的外使用する場合の規制はあるのか。

答 学校教育法では、学校教育上支障のない限り、目的外で利用できる範囲が「社会教育その他公共のため」とされている。同法の規定内で利用する場合も、都市計画法や建築基準法、消防法の適用を受けるほか、建設時の国庫補助金等の取り扱いが適正であることなどの確認が必要となる。

完全米飯給食の実施

問 TPP協定発効となれば農業と食の暗黒時代が到来し、特に食の安全問題は危機的状況下に陥る。地元の子供には地元の農家が育てたお米を毎日の給食で食べてもらうよう、完全米飯給食実施の考えはないか。

答 市学校給食センター共同調理場運営委員会では、パン食を楽しみにしている子も多く、また多様なメニューを提供する意味からパン食はあった方がよいとの意見が多くあった。現在の米飯実施率(週3・5回、70%)を維持しながら、安全・安心でバランスのとれた給食の提供に努めたいと考えている。

その他の質問事項

- オーガニック農業の普及
- イオン経済効果の再検証とは
- 大型七夕と観光拠点施設

小野 立 (よねしろ・立志会)

若者の貧困とどう向き合うか

問 能代市版総合戦略の素案は、若年層が結婚しない理由を、価値観の多様化に求めているが、私は信じない。所得が低くて家庭が持てないのが現実だ。市長はこれをどう見るか。

答 総合戦略の素案のたたき台では、アンケート調査結果や厚生労働白書等を参考に「若者の意識や社会構造の変化、ライフスタイルの多様化等」と記載したが、未婚率はさまざま要因が重なることで上昇するものであり、価値観の多様化だけではないと考えている。このため、素案には経済的な要因についての記載を検討している。

「官製ワーキングプア」問題

問 毎年3月、市は臨時職員を大量に募集する。人手不足を臨職で補うことで、結果として市はみずからの手で地域の雇用を不安定化している。定員適正化目標の緩和が必要と考えるが。

答 臨時職員は補助業務や資格を要する業務等に従事しており、雇用条件はそれぞれの職務や職責等に合ったものとなるよう改善に努めている。定員適正化計画の見直しは、新たな行政課題への対応や、市民サービスの維持、向上を図りながら、将財政的にも持続可能な職員数を確保する視点で取り組んでいきたい。

その他の質問事項

- 「いじめゼロ」の虚妄と真の対策
- 地域の至宝、檜山安東氏城館跡

佐藤 智一

(希望)

新電力切りかえによる歳出削減

問 他の自治体では、一般競争入札で新電力に契約を見直し経費が削減された実績が多数ある。本市の施設等の年間電気料と契約変更による削減見込額は、

答 主な公共施設のうち、電力自由化の対象施設は31施設で、26年度の電気料金は約1億6500万円となっている。経済産業省資源エネルギー庁の削減事例によると、他市では新電力への切りかえで約6.2%の削減となっている例がある。同等の削減率を見込み試算した場合、約1020万円の削減となる。

遺跡の発掘調査等

問 恵まれた遺跡群がある当市だが、出土した遺物等の保管・展示状況は。また遺跡群を郷土教育にどう生かしているのか。

答 市が実施した発掘調査で出土したり、個人から寄贈を受けた遺物は旧富根小学校に保管しているほか、一部は市施設や学校内にも展示し活用している。主要な遺跡については社会科副読本に掲載し、市内全ての小・中学校で活用している。また、授業では石器や土器等の実物を活用し、歴史への興味・関心を高めたい。

その他の質問事項

- 自治体が主導する新電力設立は
- 風サミット参加で自治体間連携を
- わかりやすい防災教育の推進は

渡辺 芳勝

(市民の声)

小規模校は残すべきである

問 地域の拠点としての役割、さまざまな社会サービス、地域のコミュニティーの継続につながる必要があるのではないか。平成28年度以降の事業計画はどうか。

答 学校は地域コミュニティーの機能も有している。学校の現状を確認しながら、図書室や調理室の開放について検討していきたい。事業計画については、小規模校の在り方協議会(仮称)において方向性を検討し、さらに地域懇談会で意見を伺いながら、保護者、地域住民と合意形成を図っていきたい。

TPP交渉大筋合意をどう受けとめるか

問 市でも対策本部を設置したが、どのような対策を出していくのか、食料の安定供給、農業従事者一人一人の生活と営農は確保されていくのか。

答 市では国、県と連携しながら、市でできる農業者への支援について協議していく。食料の安定供給については、国において政府備蓄米の見直しや経営安定対策等の措置を講ずることとしている。農業従事者一人一人の生活と営農の確保については、今後とも国、県と連携しながら、必要な対策を講じていく。

その他の質問事項

- マイナンバー制度のスタート
- まち・ひと・しごと創生総合戦略

菊地 時子

(日本共産党)

屋根の雪おろしへの助成

問 高齢者の屋根の雪おろしの事故が多い昨今、安価で業者に頼むことができれば冬も安心できる。自分たちで雪おろしが難しい高齢者等に対する助成ができないか。

答 市では、軽度生活援助事業や重度障がい者世帯除雪援助事業による除雪支援を行っている。また、社会福祉協議会でも除雪ボランティア等を実施している。いずれの事業も屋根の雪おろしは危険を伴う作業であるため、対応していない。雪おろしの助成については、他市の事例等を参考に、支援のあり方を検討したい。

トラベルヘルパーの育成

問 介護が必要な人も旅行を通じ生きがいを持てる。介護に観光を入れたことで個に一層寄り添えるサービスは地元観光のおもてなしにもつながる。トラベルヘルパーの育成の考えは。

答 トラベルヘルパーは、介護技術と旅行の業務知識を備え、介助が必要な方の旅行等の外出の支援、観光等で訪れた方への案内を行うものであり、介助が必要になった方でも旅行や身近な外出等の幅が広がるものと考えられる。トラベルヘルパーの育成については、他市の事例を参考に、研究していきたい。

その他の質問事項

- 国民健康保険税、多子減免制度
- 木育推進
- 給食の地場産物の利用拡大

原田 悦子 (イコールの会)

陸上競技場周辺の駐車場確保

陸上競技場、市民球場など周辺に住む方々は大会等行事があるたびに路上駐車があつて困っている。対策は考えているか。

陸上競技場の駐車場不足については、大会開催時の駐車状況の把握や対応策として車の相乗りや交通整理員の配置などを、競技場を利用する主催者にお願している。競技場周辺の空き地等の情報収集に努めるとともに、活用できる市有地がないか、調査・検討していく。

能代産業廃棄物処理センター問題

能代産業廃棄物処理センターのドラム缶について、住民5団体が県に対して撤去の申し入れを行っている。市としてもドラム缶掘削除去費を県の次年度予算に要望していただきたい。

住民団体が求めているドラム缶掘削除去については、市では能代産業廃棄物処理センター環境対策協議会等において要望している。住民不安を解消するため、引き続き県には予算を確保しドラム缶を除去するよう、要望していきたいと考えている。

その他の質問事項

- ふるさと納税
○あきた未来づくり交付金

渡辺 優子 (平政・公明党)

防災行政無線

防災行政無線の放送が聞き取りにくいとき、電話で放送内容を聞くことができる「テレホンサービス」、この番号を知らない人が多い。番号をシールに印刷して、全戸配布をするべき。

防災行政無線の内容はテレホンサービスのほか、ホームページにも掲載している。電話番号については広報やホームページに掲載し、出前講座やイベントの際にチラシを配布するなどしているが、今後、災害ハザードマップの見直しの際に記載するとともに、お知らせシールの配布についても検討したいと考えている。

少子化対策くるみんとイクボス宣言

くるみんとは従業員の仕事と子育ての両立支援に取り組む企業を国が認定する制度。イクボスとは、従業員の育児参加に理解のある経営者。この制度で子育て環境を整備すべき。

「くるみん」の推進については、関係機関と連携し制度を周知していきたい。「イクボス宣言」については、男性も積極的に子育てに参加し、夫婦で子供と向き合い子育てできる環境を整備する一つの手段と考える。先行事例の状況を調査し、事業主の理解や一体感を持つて取り組める手法等について検討する。

その他の質問事項

- 高齢者肺炎球菌ワクチン
○AEDの設置場所

安岡 明雄 (改革のしろ)

米代川の「避難を促す緊急行動」

平成19年豪雨災害のときに、堤防内で水が湧き出した例がある。堤防決壊の危険、パイピング現象は起こり得るのか。緊急時の避難勧告など、市の対応をどうしていくのか。

国土交通省では地質調査に基づき堤防強化工事中であり、米代川重要水防箇所の合同巡視など関係機関と連携を図りながら防災対策に努めていく。また、市では災害発生の可能性がある場合には、空振り恐れず避難勧告や避難準備情報を発令することとしており、今後も防災意識の啓発に努めていく。

国の「がん対策加速化プラン」と市の施策

がん検診率の向上に向け、組織型検診の全面導入、市町村検診と職域検診の一体管理、受動喫煙防止の強化、がん教育や普及啓発の推進など、市の役割をしっかりと果たすべきだ。

市では生活習慣改善として禁煙教室、夜間健康教室等を実施している。また、受診率向上のため無料クーポン事業、日曜がん検診等を実施している。その他、がん教育等の推進、受動喫煙の防止等に取り組んでいるが、国から公表される「がん対策加速化プラン」と連動して対策の強化に努めたい。

その他の質問事項

- 「事業厳しく洗い直し」方針の本気度
○「しごと」の創出と企業誘致の推進
○イオン出店計画検証と出店見込み

菅原 隆文 (よねしろ・立志会)

ひきこもり者を地域づくりに生かせないか

【問】市内に多数いると推計される引きこもり者や長期不就労者は大切な人材。社会に出るための支援事業で自立を促すことが急務。先進地の藤里町を参考に広域的な対策を求めぬ。

【答】市では、今年度設置した生活困窮者自立支援事業「くらしサポート相談室」で、ひきこもりについても相談の対象としており、この相談窓口とあわせて、藤里町や他市の事例を参考に、実施主体、効果等について研究していきたい。

市出身著名人と市の関係をもっと密に

【問】市出身者や所縁の著名人、映画脚本の第一人者や五輪13個のメダリスト、284勝の元プロ野球投手など多士済々。常に市の情報を提供し関係を密にする必要があるのではないか。

【答】市では能代PR大使として53名を委嘱し、毎月広報のしろ等を送付しているが、今後、より効果的な提供のあり方を検討したい。PR大使以外にも著名人はいろいろいるが、活躍されている分野も異なるため、交流を図りながら、どういった分野等で力をお借りすることができるか、情報収集に努めていきたい。

その他の質問事項

- 今後の指定管理者制度のあり方
- 名誉市民やPR大使等の必要性
- 道の駅ふたついの経営の形態は

小林 秀彦 (日本共産党)

環太平洋連携協定の大筋合意

【問】TPP交渉が大筋合意したと発表された。市場開放の分野は全品目の95%で関税を撤廃、農産物重要5品目では約30%で撤廃。国会決議にも反することは明らかか。市長の見解は。

【答】国では農林水産分野の重要5品目などの聖域の確保を方針として交渉を続けていたが、大筋合意となるまでの交渉内容が明かされなかったことは誠に遺憾である。また、合意された内容は農業従事者の期待に添えないものであり、国会決議の一部に守られていないものがあると思っている。

マイナンバー制度

【問】市民は、マイナンバーによる情報漏えいがあるのではないかと非常に不安に感じている。番号カードの申請あるいは行政手続での番号の記入は強制あるいは義務なのか。

【答】マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の分野で利用することになっている。行政手続で申請書等に記載が求められた場合は、協力をお願いしたい。個人番号カードの取得は義務ではないが、同カードは国民生活の利便性の向上に資するものであるため、国では多くの国民の皆様取得していただきたい。

その他の質問事項

- イオン出店
- 地球温暖化防止

議長の主な動き

10月～12月

- ・ 県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会
- ・ 能代山本広域市町村圏組合協議会定例会
- ・ 東北日本海沿岸市町村議会協議会中央要望
- ・ 秋田県市議会議長会臨時会
- ・ 後期高齢者医療広域連合議会定例会
- ・ 全国市議会議長会評議員会
- ・ 全国過疎地域自立促進連盟定期総会
- ・ 秋田県北部市議会連絡協議会中央要望

議長の交際費を公開します 《10月～12月分》

- ・ 能代高等学校創立90周年記念祝賀会 5,000円
- ・ 能代西高等学校創立70周年記念祝賀会 6,000円
- ・ ニツ井ふくし会設立20周年記念祝賀会 5,000円
- ・ 秋田県(知事・幹部)、市町村議会議長会合同の意見交換会 5,000円
- ・ 第21回きみまちの里フェスティバル・マラソン歓迎レセプション 5,000円
- ・ 能代市議会議員 親族への香典 10,000円
- ・ 平成27年度「関東能代会」懇親会 5,000円
- ・ 「あきぎん会」懇親会 7,000円
- ・ 秋田県文化功労者表彰受賞祝賀会 10,000円

※詳しくは第1庁舎の行政情報コーナーで閲覧できます。
 ※議長交際費は「能代市長の交際費に関する規程」に準じて支出しております。

委員会行政視察報告

議会運営委員会

視察日 10月13日
視察市 東京都調布市
視察項目 議会運営委員会の状況

・議会運営委員会の状況
・議会運営等

議会運営委員会の状況

調布市は東京都の東部に位置し、人口約22万人。平成27年4月には市制施行60周年を迎えた。市議会議員は28名で、平成27年5月に改選が行われた。

調布市では議会基本条例の中で議会報告会の開催を定めている。平成27年は11月に開催予定であるが、平成28年度は5月(予算について)と11月(決算について)の年2回を予定している。この報告会は議員28名全員が参加しており、市民からも好評を得ている。市民からは「年1〜2回でなく、4回は開催してほしい」との意見もあったとのこと。

また、調布市ではインターネット中継が行われており、議会運営委員会が所管している。本会議は生中継されており、誰でも家庭にあるパソコンで視聴することができる。録画放送についても、調整した上で会議終了後24時間経過してから見られるようになってきている。議会の休憩中はテロップにより休憩中であることを示し、再開時間がわかる場合にはその時刻についても表示しているとのこと。

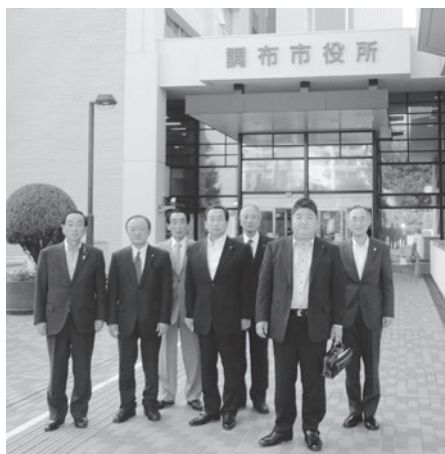
議会運営等

一般質問について、調布市議会では

一問一答制を採用している。まれに時間オーバーしてしまう議員もいたが、現在は一定のルールは守られているとのこと。

議案の意見が会派の中で割れることはないか、との質問に対し、意見調整した上で意見を一本化している。以前は会派の中でも本会議で表決時に退席したこともあったが今はない、との回答があった。

(安井和則)



庁舎整備特別委員会

視察日 10月28日〜29日
視察市 東京都豊島区・青梅市
視察項目 新庁舎の市民窓口等の配置
豊島区 新庁舎の市民窓口等の配置
青梅市 議事堂の設備等

新庁舎の市民窓口等の配置

豊島区新庁舎は、平成21年に新庁舎

整備基本計画を策定、庁舎位置変更条例の可決を経て平成27年5月に新庁舎が開設された。総合窓口や福祉フロアは市民にとっての使いやすさを優先し、1階には多目的スペースとし、2階は「タスクエア」、3階から9階までの壁面を利用した回廊美術館や屋上庭園を備え、憩いの場として利用できる庁舎を目指して建設された。

旧庁舎で使用されていた什器の再利用はどのように検証したか、との質問に対し、進化管理をプロポーザル方式により決定し、新庁舎の供用開始3年前から作業に着手した。使用可能なものを分類し、職員配置人数などを考慮した配置計画を行った。首脳部フロアは新品の什器を導入、事務室ゾーンは部課長を含め、ほとんどが古い什器を使用しているとのこと。発注に際しては公開調達としたが大手メーカーの応札はなく、ほとんどの什器類を地元である豊島区内の販売業者が納品したとのこと。

引越し作業は今年5月の連休を活用して行うことを決めていたが、何度も見直しをして今年の1月から2月頃までに、人事異動等も含め最終的な配置を決定したとのことであった。引越し作業の課題を伺ったところ、作業計画自体も進行計画のプロジェクトマネジメントで行ったが、もっと早い段階で専門の運送業者選定を行い、準備すべきであったと反省しているとのことであった。

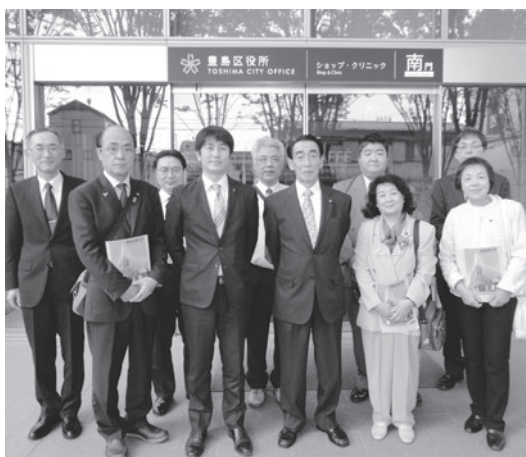
議事堂の設備等

青梅市新庁舎は平成20年3月に着工、平成22年に開設し、平成23年4月に外構等の工事が竣工した。1階には来庁者の多くが利用する戸籍、福祉、税などの窓口を集約し、来庁者の約8割が

このフロアのみで用事を済ませることができるようワンストップ化を図った。また、お年寄りや体の不自由な方も手続がしやすいよう低いカウンタートと肘つき椅子を配置し、また、1階には青梅マラソンの控室のほかイベント会場としても利用できる多目的スペース、障がいのある方が機能訓練を兼ねた喫茶コーナーや授乳室やキッズコーナーも設置した。

議会では、会議が始まる10分前から会議の終了するまでの間はライブ中継を行い、誰でもインターネットにより閲覧することができる。議会開催時以外は録画による放映があり、これもインターネットにより閲覧することができる。議場の傍聴席には親子席も用意されており、幼児を連れた傍聴者については、防音設備のある部屋から傍聴することができるようにしているとのことであった。

(藤原良範)



各委員会での主な審議結果

総務企画委員会

質 能代市債権の管理に関する条例について債権放棄の際、議会への報告項目は、また債権放棄はどのような流れで判断するのか。

答 議会への報告内容は、債権の種類、件数、人数、金額、放棄した期日と理由を想定しており、債務者名の報告は考えていない。債権放棄に当たっては庁内に審査会を設け、一律の基準で判断することを予定している。

質 地域自治区の延長期間の考え方と、法定にすることの財政上も含めたメリットは。また自治区の今後のあり方等を検討する必要がある。

答 地域自治区の延長については、新市建設計画の延長に伴い、合わせて5年間延長するものである。地域局設置により職員配置等の負担増は若干あると考えるが、住民サービスや事業効率、地域の実情に応じた事業の実施等でメリットが大きいと考えている。また延長された場合には、現状存続か協議会の見直し等も含め、二ツ井地域の振興のため引き続き検討する。

質 マイナンバー制度の周知状況は。また今後は市の窓口で手続等を行う際、個人番号は必ず記入しなければならぬのか。

答 マイナンバーは国の制度であり、政府では各種広報を、市では広報のしるにて制度周知を行っている。依頼に応じて出前講座で制度説明もを行っている。また制度上、書類等へ番号の記載を求めるところはあるが、諸事情に応じて記載しない場合であっても受理しないなどの不利益をこうむることはないとしている。

質 定住自立圏の協定締結について、目的とメリットは。

答 能代山本圏域の自治体が同じ方向性でそれぞれの事業を実施することでスケールメリットを生かし、対外的に圏域のアピールを行い圏域内相互の交流等を進めることで魅力ある地域づくり推進を期待する。また特別交付税が措置されるなど財政上のメリットもある。

質 法人保育所運営費負担金返還金（過年度分）等の返還の経緯は。また年度途中での保育士の加配等は特に必要ないという市の認識であったのではないか。

答 平成26年度の会計監査院の検査報告が今年11月に公表され、その結果に基づき、国・県補助金の返還が

必要となり、関係保育施設への補助金についても返還を求めるものである。また市では保育士の加配が必要であることを理解し、保育所においても適切な加配が1年を通して実施されていたと認識していたが、会計監査院の指摘を踏まえ毎月の保育士配置状況を書類で確認することとした。

質 3人目の地域おこし協力隊を募集する経緯は。

答 平成29年は能代工業バスケ部が初めて全国優勝してから50周年、能代カップが30回目を迎えるなどモリアルイヤーとなり、さらなるバスケットの街づくりの推進と市民の関心や誇りを喚起していくため募集するものである。

質 ふるさと納税をシティーセールスと捉え、返戻率を上げては。

答 これまでの寄附状況を分析し、返戻率や寄附額の区分等も含め、制度の趣旨も踏まえながら市の物産がPRされていくことを検討していきたい。

質 道の駅ふたつじ整備事業費の求人はどのような募集か。

答 来年度から整備事業の本格的な運営体制構築に向け進めていくことから、小売や流通、営業面において、経営をマネジメントできる知識と経験のある人材を関東圏も視野に募集を考えている。

(佐藤智一)

庁舎整備特別委員会

質 庁舎整備工事の進捗状況は。

答 現時点で4、5週間程度おくれしている。また、第一駐車場（さくら庭）建設工事は工期を1月15日に変更している。今後、施工業者と打ち合わせを行い工期のおくれを取り戻したい。

質 新庁舎の竣工時期と引っ越し時期について。

答 新庁舎の建設工事は28年6月末まで、外構工事については28年9月末までの完成を予定しており、新庁舎の引っ越しは9月中旬ごろになる。

質 本会議場の中継を継続する場合、新庁舎での対応は。

答 議場には議会中継のために必要となる配線を入れる配管を設けているので、中継の対応は可能である。

(伊藤洋文)



新庁舎建設工事（正面玄関）

文教民生委員会

質 インフルエンザ予防接種の助成額の増額の経緯は。

答 予防接種に使用するワクチンの値上がりにより接種費用も値上げになるため、助成額を1000円から1400円に増額するものである。

質 高齢者ふれあい交流施設の当初の利用見込みと実際の利用状況について。

質 当初は1日当たり65人の利用を見込んでいたが、オープン後は1日当たり203人が利用している。

質 小学校の洋式トイレの改修状況や改修にかかる年次計画はどうなっているか。

答 現在、市内の各小学校には洋式トイレを男女それぞれ最低1カ所ずつ設置しているが、今後は、校舎の各階ごとに、男女それぞれ1カ所ずつの設置となるよう、整備を進めていきたい。

質 能代市在宅障害者支援施設の指定管理者の評価について。

答 選定委員会から、選定内容として、地域福祉に関する知識及び経験が十分にあり、現指定管理者としての利用者対応もよく、今後も適正な施設の管理運営が期待できると報告されている。

質 今後、能代市在宅障害者支援施設の新しい取り組みを考えているか。

答 これまでの実績や市の計画に沿って、国の補助事業を活用し、相談支援事業の体制強化や、機能訓練等の地域活動支援センター事業を行いたいと考えている。これにより、施設の機能強化や利用者の増につなげていきたい。

質 社会教育で文化会館を使用する際の減免についてはどう考えるか。

答 教育目的で減免制度を創設したが、今後の文化会館の利用動向や社会教育団体の意見も参考にしながら検討したい。

質 文化会館の使用料を減免することにより約100万円の減収が見込まれるが、減少分について新年度予算の指定管理料に上乘せするか。

答 減少分と合わせ、利用者の増加を助成した指定管理料の上乗せ分を検討している。

(渡邊正人)



文教民生委員会の様子

産業建設委員会

質 下水道使用料の改定に伴い、使用料は幾ら引き上げられるのか。

答 26年度決算における1戸当たりの平均使用水量は17立方メートルで、使用料は2345円であるが、改定後は2853円となり、508円引き上げられる。

質 下水道の今後の整備について。

答 生活排水処理整備構想を策定しており、計画期間は20年としている。10年後にこの構想の中間見直しを予定している。

質 今後の財政見通しについて。

答 今回の改定率による10年間の財政シミュレーションでは純利益の確保は可能と考えている。

質 機構集積協力金事業費の概要について。

答 機構を通じた農地の貸し借りの場合、農地の出し手側に対し協力を支払うもので、地域集積協力金は地域がまとまって貸し付けた場合に地域に、経営転換協力金は経営転換や離農する方に、耕作者集積協力金は担い手の農地集約化につながる農地を機構に10年間貸し付けた方に対して支払うものである。

質 林業機械導入支援事業費の概要について。

答 高性能林業機械を導入する白神森林組合に対して補助するもので総事業費2137万3200円、そのうち、国50%、残りを白神森林組合と能代市、藤里町、三種町、八峰町で負担するもので、能代市の負担は204万5000円であり、財源は過疎債である。

質 天空の不夜城、出演と取り組みについて。

答 今回は地方創生先行型交付金事業で地域プロモーションを目的に出演するもので、日本一の高さを誇る城郭灯籠を介して能代市のプロモーションを十分にしたい、今後の経済活性化等につなげたい。

質 ふるさと祭り東京2016「天空の不夜城」出演補助金の概要と、補正額が大きい原因について。

答 27年3月補正で補助金を計上していたが、今年度に入り、組み立て解体作業時に相当な時間的制約がかかることが判明し、それに伴った作業員の増、夜間作業の割増賃金等の追加が必要となったものである。3月の段階では条件や制約が詳細につかめず、概算での計上であったが、もう少し緻密に見積もりを行うべきであった。

(落合範民)

請願陳情の議決結果

採 択

- ◆安全・安心の医療介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書提出について (一部採択)
- ◆介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める意見書提出について (一部採択)
- ◆必要な医療介護がつけられ、安心して暮らせる年金制度など社会保障の充実を国に求める意見書提出について (一部採択)

不 採 択

- ◆TPP交渉に関する意見書提出について

関係私企業等との請負契約等の公表

市長から市議会政治倫理条例に係る関係私企業等との請負契約等の状況について、議長に報告がありましたので、その内容をお知らせします。

- ・物件所有者名 東能代簡易水道組合 組合長 庄司弘八
- ・関係する議員 庄司弘八
- ・物件所有者との関係 本人
- ・件名 物件移転等に関する補償
- ・内容 汚水枝線工事(27B-4)に伴う簡易水道の移転補償
- ・契約金額 79万92000円
- ・契約年月日 平成27年9月18日
- ・完了年月日 平成27年9月30日

《市議会会議録が検索できます》

能代市のホームページ等から市議会会議録の検索ができます。

下記URLからお気軽に検索いただけます。

能代市議会会議録の検索と閲覧

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/noshiro/noshiro.html>

議会の主な動き

10月	11月	12月
13日	5日	8日
・議会運営委員会行政視察(14日まで)	・決算特別委員会	・12月定例会開会
27日	10日	15日
・文教民生委員会管内視察	・産業建設委員会協議会	・会派代表者会議
・庁舎整備特別委員会行政視察(30日まで)	・産業建設委員会管内視察	・各常任委員会
	・全員協議会	・庁舎整備特別委員会
	・総務企画委員会管内視察	・会派代表者会議
		・議会運営委員会
		・12月定例会閉会

「議会を傍聴しませんか」

3月定例会の予定は左の表のとおりです。どなたでも傍聴できますのでお気軽にお問い合わせください。備え付けの「傍聴者名簿」に氏名・住所を記入し、傍聴席へお入りください。

3月定例会の予定

- (招集場所：二ツ井町庁舎議場)
- 1日(火) …… 開会・提案説明
 - 7日(月)～8日(火) …… 一般質問
 - 9日(水) 一般質問・議案の質疑
 - 10日(木)～11日(金) …… 議案の質疑
 - 14日(月)～16日(水) …… 常任委員会
 - 17日(木) …… 庁舎整備特別委員会
 - 24日(木) …… 議決・閉会
- 会議の日程及び開議時刻(午前10時)は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

心穏やかに新年をお迎えのことと思います。市民お一人お一人の努力が実り、新たな道が開けるよき年となりますよう、心よりお祈りいたします。さて、こゝしは「甲」年です。「甲」は「呻く(うめく)」の意味もあり、果実が成熟し固まっていく状態をあらわしているそうです。農業等各種産業の振興、文化を生かした観光振興、健康づくり活動等々、完熟に至るか成長段階か。「平成の合併」から10年の節目に当たり、私達は常に役に立つ議員でありたいと、市民への胸に秘めた強い思いが伝わる1年となるよう頑張ります。(原田)

「御意見・御感想をお寄せください」

のしる市議会だより「わたしのまち」をこらんなった皆様の御意見・御感想をお待ちしております。
〒018-3192
能代市二ツ井町字上台1番地1
能代市議会事務局宛て

議会だより編集委員会

- | | | | | | |
|------|------|-----|------|------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 副委員長 | 委員長 | | | | |
| 伊藤洋 | 落合友文 | 落合康 | 渡邊正良 | 落合範一 | 佐藤悦子 |
| 伊藤洋 | 落合友文 | 落合康 | 渡邊正良 | 落合範一 | 佐藤悦子 |